

観光

Tourism

今週の展示

まるっと京都

森の京都／竹の里・乙訓エリア

誰もが楽しめるイベントや体験がいっぱい！

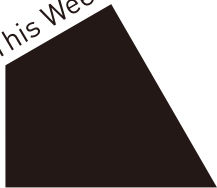
里山や竹林、溪谷など自然に癒される

森の京都と竹の里・乙訓エリアならではの

観光の魅力をご紹介します。

京都の新しい一面を体感してください。

This Week's Exhibition



Woodland Kyoto / Kyoto Otokuni Bamboo Grove

Full of events and experiences that everyone can enjoy!

Be soothed by nature—satoyama landscapes,
bamboo groves, and mountain valleys.

We're showcasing the unique tourism attractions
of the “Woodland Kyoto” and “Kyoto Otokuni Bamboo Grove” areas.
Come and discover a new side of Kyoto.

1-1

「はじめて森林浴」のツアーで 見学、体験できる竹製品や竹細工

展示作品

長く愛用したい、上質な竹製品

足裏を心地よく刺激する竹のあしぶみや、毎日玄関で愛用する竹のくつべら。丁寧につくられた上質な竹製品は、美しさと実用性を兼ね備え、暮らしを豊かに彩ります。



ふだん使いにもいい、竹コップや竹皿

竹は昔から私たちの生活に身近な素材です。竹コップや竹皿は自分たちでも簡単に作れ、使って楽しく、自然の素材の活用にもつながります。



竹片を活用して箸置きに

竹の端材は、箸置きやアクセサリーなどの小さな雑貨に生まれ変わります。ツアーでは、簡単な竹細工を体験しながら、自然素材ならではのぬくもりと、竹の新たな活用の可能性を感じることができます。



特定非営利活動法人itswellness

東京都中央区東日本橋2-28-4-2F

展示協力／株式会社DELICEキョウト、高野竹工株式会社

1-2

西京、竹の里・乙訓でウェルネスツアー 健康に、自然に、心地よいひとときを。

展示作品

1000年を超える竹の名産地

嵐山から連なる西山連峰下は竹の群生地。1000年以上前から竹が栽培され、寺社仏閣や庭園の景観、茶道具、竹工芸、筍料理、竹製品などに生かされてきました。



人と自然に考慮したウェルネスツアー

私たちitswellnessは「人と地球が健康になれるこれからの旅」をテーマに、人の健康と、地域の自然環境の保全に考慮したツアーや体験を行っています。

竹林で心静かにソロタイム

ツアーの中で人気のひとつが「ソロタイム」。青竹色と土色が織りなす竹林は、深い静けさを呈した神秘的な世界。ひとり静かに散策や安息をして、心がほどこける時間を過ごしませんか。



特定非営利活動法人itswellness

東京都中央区東日本橋2-28-4-2F

展示協力／株式会社ツアーポート

2-1

保津川下り：千年の歴史を継ぐ船旅

展示作品

保津川下りの歴史は、江戸時代に京の都を支える物流の大動脈として拓かれたことに始まります。今は観光客を乗せて美しい渓谷を巡る舟旅となり、その壮大な物語は現代に受け継がれています。

京の都を支えた川の道・偉大な商人が拓いた航路

今や世界的な観光名所として知られる保津川下り。その歴史は、江戸時代初期に活躍した京都の豪商、角倉了以(すみのくろ りょうい)によって拓かれました。彼は慶長11年(1606年)に丹波の物資を京都へ運ぶため、半年という短期間で荒れていた保津川を開削し、水運の道を開いたとされています。

物流から観光へ

角倉了以が開いた水運は、丹波の米や木材を京都へ運び、都の経済を支えました。現在は物資輸送の役目を終え、保津川の景観を楽しむ「保津川下り」として、多くの観光客を魅了しています。



保津川遊船企業組合
亀岡市保津町下中島2



2-2

保津川下り：物流から観光へ 船頭が守る伝統と四季の絶景を巡る保津川下り

展示作品

船頭が守り続ける伝統・手作りの道具に宿る知恵と技

保津川下りで使う舟は高瀬舟と呼ばれ、その歴史は江戸時代初期にまで遡ります。舟を操る船頭の道具は、今も天然素材から手作りされています。

●棕櫚縄（しゅろなわ）

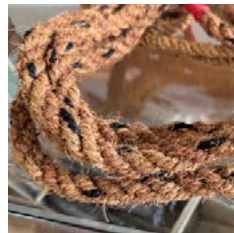
棕櫚の木の繊維を編んで作る、櫂（かい）を漕ぐための縄。水に濡れると強度が増します。

●棹（さお）

一年間乾燥させた竹製の舵取り用の棹は、先端の硬い木を交換することで、長く使い続けることができます。

●弁当箱の知られざる役割

約75年前、船頭たちは舟を引き上げる重労働をしていました。弁当箱は大きなおにぎりや空腹を満たすだけでなく、舟の応急修理に使う杉皮を入れる道具箱でもありました。



保津川遊船企業組合
亀岡市保津町下中島2

3-1

見るだけではない、新しい京都の旅を体験しませんか？

展示作品

私たちEXPO KYOTO D&I実行委員会は、単なる観光に終わらない、新しい京都の旅を提案します。京都には、古都の美しい景色や歴史的建造物を見るだけでなく、お客様ご自身が体験することで、その奥深さをより深く感じられる魅力がたくさんあります。

五感で楽しむ、特別な京都体験

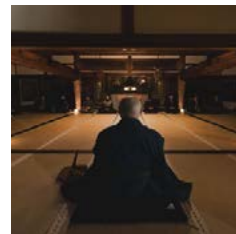
座禅や着物着付け、豊かな自然の中での森林浴など、手や体を動かしながら京都の文化に触れることができます。また、地元の食材を使った料理や飲み物を味わうことで、その土地ならではの食文化も体験していただけます。まるでタイムスリップしたかのような美しい建築や、自然と歴史が織りなす特別な場所で、五感をフルに使って京都の魅力を感じてみましょう。

持続可能な観光と地域とのつながり

私たちは、安藤人形店や土御門仏所をはじめ、多くの京都の職人や工房と連携し、伝統文化を体験するイベントを通して、参加者と地域との深いつながりを育んでいます。この活動は、伝統文化への理解を深めるファンを増やすことで、持続可能な地域づくりに貢献することを目的としています。

EXPO KYOTO D&I実行委員会

京都市右京区嵯峨野清水町21-62



3-2

ほんまもんのお雛さま

展示作品

伝統を受け継ぐ京雛

お雛様は、五節句の一つである桃の節句に飾られ、女の子の健やかな成長と幸せを願う役目としてお守りいただく大切な存在です。貴族社会で行われていた「身を清める厄払いの儀式」だったものが、江戸時代になり、人々の暮らしが豊かになるにつれて「子どもの成長と幸せを祈る室礼」ととなりました。大人になってからもずっとお見守りくださる京都が誇る伝統的なお人形です。

分業が生み出す最高峰の技術

お雛様は、それぞれの分野で最高の技術を持つ職人たちの共同作業によって生まれます。頭師、髪付師、手足師、小道具師といった専門の職人たちが、それぞれの技を結集させ、最後に着付師がそれらをまとめ上げ、一体のお雛様として完成させます。チラシでご案内の「京人形展」では安藤柱甫が11月2日13～15時で実演させていただきます。また京都の店舗では着付け実演や体験なども承っております。皆様のお越しを心よりお待ちしております。



EXPO KYOTO D&I実行委員会

桂甫作 安藤人形店

京都市上京区油小路通丸太町上る米屋町273-2



3-3

京都に息づく仏像文化

展示作品

1200年以上の歴史を持つ京都の仏像文化

約1500年前に仏教伝来とともに伝わってきた仏像は当初は奈良を中心に発展していきましたが、約1200年前に京都に都が移ってから現在に至るまで、その生産の中心は京都です。

仏像の多くは木製、漆箔仕上げ

仏像は金属製や土製、石製などいろいろありますが、現代の仏像のほとんどは木製です。作り方は一木造と寄木造の2種類あり、その上に漆を塗り金箔を押して全身を金色で表現することが多いです。

見せ方を変えながら仏教の教えを伝える仏像

仏教の教えを伝えるためにできた仏像は、次代に合わせて見せ方も変化してきました。現代ではドローンに仏像を乗せて「来迎」を表現するドローン仏の実演や、塗師、箔押師、宮大工職人とクラフトチームを組んだワークショップなどを試行し、仏教を知る新たな入口になっています。



EXPO KYOTO D&I実行委員会

土御門仏所

京都市上京区上長者町通西洞院東入土御門町311



4

VR映像で観光体験「キヨロキヨロ京丹波」

展示作品

京都府中部に位置する京丹波町

緑豊かな自然環境と、温かい人々の溢れるこの町の暮らしを、VR映像で体験いただけます。

人で感じる京丹波のあたたかさ

京丹波の魅力である人の好さを、町のおばあちゃんとの思い出が伝わってきます。京丹波への帰省体験をしてみませんか？

車載動画で感じる京丹波の美しさ

京丹波町の魅力である自然を、バイクからカメラの中に収めました。動画の中でなら、運転中でもよそ見をして、好きなだけ景色を楽しむことができます。



京丹波町

船井郡京丹波町蒲生蒲生野487番地1



5

フォートナイトでめぐる ― バーチャル京都

展示作品

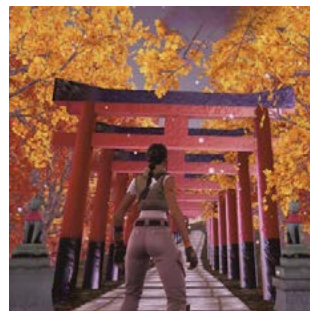
京都学生eスポーツ協会は、世界的人気ゲーム「フォートナイト」を活用し、誰もが楽しみながら京都の名所や魅力にふれられるバーチャル体験を提供します。

世界中どこでも楽しめる京都体験

本ゲームは、お手持ちのPCやゲーム機、スマートフォンから登録・ダウンロードするだけで、会場だけでなく、ご自宅など場所を問わずお楽しみいただけます。時間や場所にしばられず、世界中どこからでも京都の魅力にふれることが可能です。

学生が再現するデジタル京都

京都府内の学生が実在する風景をもとに制作した建物などのオブジェクトが登場します。制作を通じて、学生たちは京都の魅力を再発見し、新しい京都の姿をデジタル空間で表現する技術を学び、地域と向き合いながら新しい京都の姿を発信する取り組みです。



京都学生eスポーツ協会

京都市北区紫野上柏野町 59-18

6

今日の京都 ～市町村職員が日替わりでおすすめを紹介～

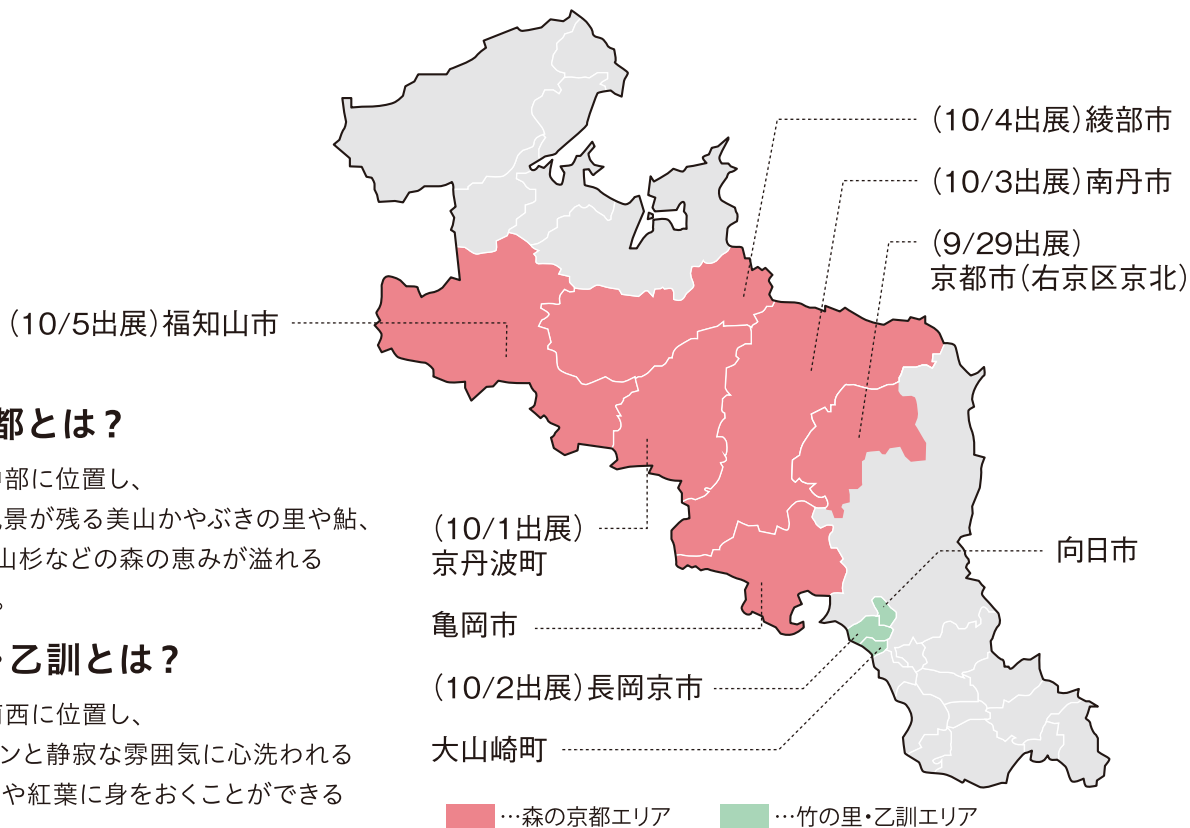
森の京都／竹の里・乙訓編

森の京都とは？

京都府の中部に位置し、
日本の原風景が残る美山かやぶきの里や鮎、
丹波栗、北山杉などの森の恵みが溢れる
エリアです。

竹の里・乙訓とは？

京都府の南西に位置し、
歴史とロマンと静寂な雰囲気心洗われる
美しい竹林や紅葉に身をおくことができる
エリアです。



6

(9/29出展)京都市



山科

(10/1出展)京丹波町



鮎の串焼き

(10/2出展)長岡京市



長岡天満宮

(10/3出展)南丹市



かやぶきの里

(10/4出展)綾部市



大本神苑

(10/5出展)福知山市



大江山雲海

亀岡市



サンガスタジアム/かめまる

向日市



竹の径

大山崎町



アサヒグループ大山崎山荘美術館

京瓦「キモノタイル」に覆われた 空間デザインと映像・音楽によるノンバーバル表現

オリジナルの京瓦「キモノタイル」によって
質感を統一したミニマルかつ静謐な空間を通じて、
来場者がじっくりと京都の未来と過去に
向き合えるような体験を創出します。
さらに、そこに加わるノンバーバルな映像と音響は、
空間と一体となりながらその多面的な魅力を物語ります。



映像紹介



貝吹地藏磨崖仏

撮影地：貝吹地藏磨崖仏（木津川市）



与謝野町立古墳公園

撮影地：与謝野町立古墳公園
（与謝郡与謝野町）



東福寺龍吟庵(りょうぎんあん)

撮影地：大本山 東福寺（京都市東山区）
協力者：大本山 東福寺



保津峡

撮影地：保津峡（京都市）



東福寺龍吟庵(りょうぎんあん)

撮影地：大本山 東福寺（京都市東山区）
協力者：大本山 東福寺



伊根の舟屋

撮影地：伊根町（与謝郡伊根町）



抹茶をひく石臼

撮影地：福寿園CHA遊学パーク（木津川市）
協力者：福寿園CHA遊学パーク



天橋立と観光船

撮影地：宮津市



元伊勢 籠神社

撮影地：元伊勢 籠神社（宮津市）
協力者：元伊勢 籠神社



福知山城

撮影地：福知山城（福知山市）

映像紹介



美山かやぶきの里

撮影地：美山かやぶきの里（南丹市）
協力者：一般社団法人南丹市美山
観光まちづくり協会



茶そば打ち体験

撮影地：和束家（相楽郡和束町）
協力者：和束家



石寺の茶畑

撮影地：相楽郡和束町



平等院鳳凰堂

撮影地：平等院鳳凰堂（宇治市）
協力者：平等院



舞鶴赤レンガ倉庫群

撮影地：舞鶴市（舞鶴市）



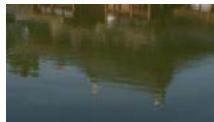
平等院鳳凰堂

撮影地：平等院鳳凰堂（宇治市）
協力者：平等院



夜の鴨川

撮影地：鴨川（京都市）



平等院鳳凰堂周辺の水面

撮影地：平等院鳳凰堂（宇治市）
協力者：平等院



刀鍛冶

撮影地：将大鍛刀場（亀岡市）
協力者：森の京都DMO



立岩の夕日

撮影地：京丹後市丹後町（京丹後市）

映像紹介



刀鍛冶

撮影地：将大鍛刀場（亀岡市）

協力者：森の京都DMO



真上から見た立岩

撮影地：京丹後市丹後町（京丹後市）



巫女形埴輪（京丹波町 所有）

撮影地：公益財団法人

京都府埋蔵文化財調査研究センター（向日市）

協力者：公益財団法人

京都府埋蔵文化財調査研究センター



質志鍾乳洞

撮影地：質志鍾乳洞（船井郡京丹波町）

協力者：京丹波町、質志鍾乳洞協力会



巫女形埴輪（京丹波町 所有）

撮影地：公益財団法人

京都府埋蔵文化財調査研究センター（向日市）

協力者：公益財団法人

京都府埋蔵文化財調査研究センター

じゅんおんはいけい

巡音拝景

京都府の今の音と、文献などに記述された音をあつめ、
そこに新たな音を配置(Composition=作曲)して制作する。

1996年に環境省(当時環境庁)は「全国各地で人々が地域のシンボルとして大切にし、将来に残していきたいと願っている音の聞こえる環境(音風景)を広く公募し、音環境を保全する上で特に意義があると認められるもの」として「残したい“日本の音風景100選”」を選定した。それから約30年が経ち、改めて京都府の音を取り上げる。温暖化が加速し、四季が失われつつある現代において山や森林など木々は大変重要で貴重なものである。京都府には豊かな自然があり、美しい音が存在している。自然がこれからも失われないことを祈りながらフィールドレコーディングをした。前述の「音風景100選」で取り上げられたものに加え、新録している。

さらに文学の中にも多くの音の記述がある。録音技術が生まれる以前には古来から人々はことばを使って音を集めた。こういった音を集めることもフィールドレコーディングである。

フィールドレコーディングリスト

Part-1 るり溪(南丹市) 船着場(伊根町) 舞鶴港(舞鶴市) 宮津湾(宮津市) 石清水八幡宮(八幡市)

Part-2 京都御所玉砂利(京都市) 清水寺(京都市) 鹿(京都市) 大江山(福知山市) ちりめん街道 天満神社(与謝野町)

Part-3 琴引浜(京丹後市) 琴滝(京丹波町) 宇治川(宇治市) 真福寺水琴窟(亀岡市) 妙心寺(退蔵院) 水琴窟(京都市)

Part-4 綾部大橋由良川(綾部市) 美濃山竹林(八幡市) 興聖寺(宇治市) 古世親水公園(亀岡市) 詩仙堂鹿おどし(京都市)

御香宮神社(京都市) 雷雨(京都市)

記述されたものからのフィールドレコーディングリスト

大原『平家物語』 鐘の音、鹿の音、虫の音

野宮『源氏物語』 虫の音、松風の音、雅楽の楽器の音

宇治『万葉集』 宇治川にして作る歌二首 1699-1700 雁の鳴き声、川の音

法成寺『栄花物語』 卷第十七「おむがく」 雅楽の演奏音

丹後『丹後国風土記』 逸文 嘆く声、歌

福知山『大江山絵詞』 雷、田楽

石清水八幡宮 世阿弥 能『弓八幡』、『放生川』 不思議な音楽、夜神楽の音

法勝寺『弁内侍日記』 後戸猿楽、鈴の音

谷崎潤一郎 潺湲亭「夢の浮橋」 添水(しおどし)の音

琴弾浜 木内石亭『雲根志』 海辺の砂浜の音

『蜻蛉日記』 車の音

『洛陽田楽記』 永長の大田楽

作・編曲:原 摩利彦

ギター:Polar M

フィールドレコーディング協力:村中真澄

リサーチ協力:原 瑠璃彦

音響デザイン:中原楽(KARABINER inc.)

株式会社 大城音響事務所

制作:MH Studio Inc. / TSUYURI

空間デザイン協力	Space design cooperation
Sandwich	Sandwich
京瓦タイル「キモノタイル」製作協力	Kyoto tile "Kimono tile" production cooperation
株式会社京瓦 浅田製瓦工場	ASADA KAWARA FACTORY
テーマ映像制作	Theme video production
株式会社 青空	AOZORA,LTD
テーマ音楽制作	Theme music production
原 摩利彦	Marihiko Hara

大阪・関西万博きょうと推進委員会